



千代田総行動+JAL 中部共闘の要請

不当解雇撤回求め京セラ東京事業所へ要請

JAL 中部共闘と原告団は 4 月 24 日午前、千代田総行動に合わせて、京セラ八重洲事業所を訪問し、稻盛日航名誉会長への不当解雇撤回・早期職場復帰を求める要求書を手渡すとともに、早期全面解決に向けての要請を行いました。

要請団は 原告団 18 名に、千代田区労協など東京中部ブロックの労働組合の代表 10 名の計 28 名。ビル 7 階の事務所前でしばらく待った後、応接室にて要求書を手渡して早期解決を要請。応対した京セラの担当者は「要請の内容を稻盛氏に伝えてくれますね?」に対し「ハイ……」と答えたものの、最後まで役職も名前も名乗ることはありませんでした。



お昼の神保町をデモ行進

午後は地下鉄神保町駅近くの錦華公園に集合して昼休みデモ。総勢 110 名の元気な行進となりました。

モ行進に先立ち、千代田区春闘共闘委員会の小林議長があいさつ。「春闘は終息しつつあるが、消費税の問題、基地問題、原発、TPP 等、問題山積している。生活と権利を守るために闘う。元気よくデモ行進しましょう」

山口団長からは、「今日午前中京セラに要請に行き、解雇撤回と早期職場復帰の

要求書を提出してきた。不当判決を受けて、4 月 11 日に控訴した。4 要件を踏みにじる不当判決であり、私たちの不当解雇撤回闘争は全国の労働者の雇用問題となっている。首切り自由社会を許さないために勝つまで闘う」と決意表明がありました。

神保町を行くデモ行進。JAL の不当解雇は許さないぞ～！ すべての争議を解決させよ～！ もっと本を読もう～！ など、お昼休みの神保町にシュプレヒコールを響かせました。

